

令和7年度 第77回 北海道都市対抗柔道大会

大会要項

1 日時 令和7年10月19日(日) 午前8時 開場 午前9時30分 開会式

2 会場 網走総合体育館・アリーナ

〒093-0035 網走市駒場南1丁目8-1 TEL 0152-43-3647

3 主催 一般社団法人 北海道柔道連盟、

4 主管 網走柔道連盟

5 後援 網走市、網走市教育委員会、網走市スポーツ協会

6 参加資格

(1) 各柔道連盟(協会・会)の区域内に住居又は就職している者。

(2) 令和7年度公益財団法人 全日本柔道連盟登録者であること。

7 チーム編成及び選手数(団体試合・個人試合)

(1) 団体試合

ア 加盟団体対抗

(ア) 加盟団体ごとに1チームを編成する。

① 1部 札幌、函館、旭川、小樽、釧路、苫小牧とする。

② 2部 上記以外の加盟団体とする。

(イ) チームは、監督1名、選手5名、補欠1名とする。また、監督と選手を兼ねることができる。

(ウ) 監督は、公益財団法人 全日本柔道連盟公認指導者資格を取得している者であること。但し、選手を兼ねる場合は、この限りではない。

(エ) オーダーは、段順位(大将から高段者の順)の編成とし、補欠を起用する場合は、同段位にあつては、欠場のところに、段位が異なる場合は、編成に沿ったところに組み入れること。

(オ) 補欠と交代した選手は、その後の一連の試合に出場できない。

イ 市・町・村対抗及び職域対抗

(ア) 市・町・村に居住もしくは勤務する者によって編成し、高校生・中学生の出場は認めない。

(イ) チームは、監督1名、選手3名、補欠1名とする。但し、大学生の出場は2名以内とする。
また、監督と選手を兼ねることができる。

(ウ) 同一市・町・村で職域の関係上、個別にチームを編成する場合は、複数のチームの出場を認める。

(エ) 出場者の段位に制限はないが、選手層の拡大を図るため下記の大会出場者の参加は認めない。但し、32歳以上の者の出場は自由とする。

○全日本柔道選手権大会 ○東北・北海道対抗柔道大会 ○国民体育大会

(オ) 監督は、公益財団法人 全日本柔道連盟公認指導者資格を取得している者であること。但し、選手を兼ねる場合は、この限りではない。

(カ) オーダーは、段順位(大将から高段者の順)の編成とし、補欠を起用する場合は、同段位にあつては、欠場のところに、段位が異なる場合は、編成に沿ったところに組み入れること。

(キ) 補欠と交代した選手は、その後の一連の試合に出場できない。

ウ 女子の部

(ア) 北海道の在住者によって編成し、中学生の出場は認めない。

(イ) チームは、監督1名、選手3名、補欠1名とする。

また、監督と選手を兼ねることができる。

(ウ) 複数のチームの出場を認める。

(エ) 監督は、公益財団法人 全日本柔道連盟公認指導者資格を取得している者であること。但し、選手を兼ねる場合は、この限りではない。

- (ハ) オーダーは、段順位（大将から高段者の順）の編成とし、補欠を起用する場合は、同段位にあつては、欠場のところに、段位が異なる場合は、編成に沿ったところに組み入れること。但し、出場者は1級以上の実力を有する者とする。
- (カ) 補欠と交代した選手は、その後の一連の試合に出場できない。

(2) 個人試合(男子のみ)

加盟団体対抗、市・町・村対抗及び職域対抗、それぞれ各チームから1名の選手とする。但し、開催地にあつては、2名以内の出場を認める。

8 試合方法

- (1) 団体試合・個人試合ともにトーナメント戦で行う。但し、団体戦の加盟団体対抗1部の場合、出場チームによってはリーグ戦で行う場合もある。

※1部・2部及び女子の部においては3位決定戦を行うが、市・町・村・職域対抗及び個人試合においては3位決定戦は行わない。

- (2) 国際柔道連盟試合審判規定による。

- (3) 試合時間は4分とする。

- (4) 勝敗の決定方法

ア 団体戦は「一本」「技あり」「有効」「僅差」とする。「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり、有効）がない、又は同等の場合、「指導」の差2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。「指導」の差1であれば「引き分け」とする。

イ 個人戦の判定基準は「一本」「技あり」「有効」とする。「反則負け」（直接もしくは累計による）を除き、「指導」（1回目、2回目）の違いだけでは勝者を決定しない。（「指導」は、相手のスコアとはならない。ただし、延長戦（時間無制限によるゴールデンスコア方式）に入った場合に、本戦で与えられた罰則は反映される。）

試合時間内に優劣がつかない場合は、延長戦（時間無制限によるゴールデンスコア方式）で決定する。

延長戦は、双方どちらかの試合者が「有効」を得た場合、または「反則負」（直接的又は「指導」の累積による）によってのみ勝負が決まる。

- (5) 団体試合のチームの勝敗は以下のようにする。

ア 勝ち数の多いチームとする。

イ アで、同じ場合は、点数の多いチームとする。（一本勝 10 点、技有勝 7 点、僅差勝 3 点）

ウ イで、同じ場合は、代表戦を行い、必ず勝敗を決する。

エ 代表戦は「引き分け」の選手から抽選で1組を選び、時間無制限によるGS方式によって勝敗を決する。

（先に、「技あり」以上の技評価を得た選手が勝ちとなり、先に「指導」を与えられた選手が負けとなる。）

9 ゼッケン

- (1) 参加選手はゼッケン（名字、所属名入り）を柔道衣に取り付けること。

- (2) ゼッケンを取り付けていない選手は、出場できない。

布 地	白色
サイ ズ	横30cm～35cm×縦25cm～30cm色
文字位置	名字を上部2/3、所属名は（連名・協会・会・市町村名等）は下部1/3
書 体	ゴシック又は楷書、男子は黒字、女子は朱字で記載する。
縫い位置	白後襟から5cm～10cm、対角線にも強い糸で縫い付ける。

10 審判会議

大会当日、午前9時00分から、会場内の会議室で行う。

11 ライセンス受験者打合せ

大会当日、午前8時30分から、会場内の会議室で行う。

12 表彰

(1) 団体試合

1・2部及び女子の部は3位決定戦を行うので、それぞれ優勝・準優勝及び第3位（1チーム）を表彰する。
市・町・村対抗及び職域対抗においては3位決定戦を行わないので、優勝・準優勝及び第3位（2チーム）を表彰する。

(2) 個人試合

3位決定戦を行わないので、優勝・準優勝及び第3位（2名）を表彰する。

13 申込方法 申込み期限 9月22日（月）必着

参加申込者は所属する柔道連盟（協会・会）に申込み、各加盟柔道連盟（協会・会）は所定の申込用紙を9月22日（月）必着で下記の2つのアドレスにメールすること。

（Fax申込みは不可）

また、申込書のデータを必ずメールで下記の北海道柔道連盟アドレス、網走柔道連盟アドレスの両方に送ること。

① hokkaidojudo@yahoo.co.jp

② t.kurihara@s-nittai.ed.jp

14 参加料 「9月22日（火）までに下記の網走柔道連盟の口座に振り込むこと」

***北洋銀行 網走支店 普通 口座番号 3570979**

口座名 網走柔道連盟 事務局 栗原太郎

(1) 1部・2部 15,000円

(2) 市・町・村対抗及び職域対抗、女子の部 1チーム 10,000円

15 組合抽選会

一般社団法人 北海道柔道連盟事務局にて令和7年〇月〇〇日（〇）午後6時00分から行う。

16 審判員推薦

審判員推薦書を必ず提出すること。

17 ライセンス試験の実施

C級ライセンス試験を実施するので、希望者は所属する柔道連盟（協会・会）に申込みをする。各柔道連盟（協会・会）は所定の用紙（会長印付き）に記載し、受験料（5,000円）を、下記の口座に振り込み、令和7年9月22日（火）必着にて、一般社団法人北海道柔道連盟事務局及び網走柔道連盟事務局まで申し込むこと。

（FAXでの申込みは不可）

<振込先> 北洋銀行 豊平支店 普通 口座番号 1070706

口座名 一般社団法人北海道柔道連盟 会長 岩崎 満

*連盟名若しくは個人名を必ず明記すること。

<ライセンス試験申し込み先>

〒064-0811 札幌市中央区南11条西1丁目5-1

タカイレブンハイム

一般社団法人北海道柔道連盟事務局

TEL011-206-9906

[受験資格]

(1) 年 齢： 18歳以上満60歳までの者

(2) 柔道経験： 2段以上（男・女共）の者

(3) 審判経験： 指導者登録又は競技者登録をし、かつ研修会等に参加し加盟団体より推薦を受けた者。

18 問合せ先

- (1) 一般社団法人 北海道柔道連盟 事務局

〒064-0811

札幌市中央区南 11 条西 1 丁目 5-1 タカイレブンハイム TEL 011-206-9906

- (2) 網走柔道連盟事務局

〒093-0045

網走市大曲 1-6-1 日本体育大学附属高等支援学校内

TEL080-1415-4624 (網走柔道連盟事務局長 栗原 太郎)

19 その他

- (1) 駐車場については台数に限りがあります。できる限り公共交通機関のご利用をお願いします。

- (2) 体育館は土足厳禁となっております。必ず上履を持参ください。

- (3) 駐車場図面は、後日HPにアップいたします。**